

- 文庫世話人、一般 200名
- ・講演 演 大人の戸口で  
— 思春期(10代)の人たちの本 —  
児童文学評論家 清水真砂子

## 6 広報資料の発行

### (1) 館報「あづま」

第37巻第1～4号(通巻218～221号)を発行し、市町村教育委員会、図書館、公民館等へ配布した。

発行部数 各 2,000部

### (2) 昭和61年版福島県公共図書館・公民館図書室実態調査

県内公共図書館・公民館図書室の実態を把握し、図書館活動の振興に資するため、昭和54年度から毎年実施し、報告書にまとめているものである。

昭和61年4月1日現在の調査結果の主要な点をあげると、市町村図書館と公民館図書室を合わせた蔵書冊数は1,995,994冊で、県民1人当たり0.96冊(前年度0.88冊)、年間増加図書冊数は192,350冊である。

また、昭和60年度中の貸出図書冊数は3,151,067冊(県民1人当たり1.52冊)であり、前年度に比べると総冊数では427,786冊増である。発行部数450部。

### (2) 図書館職員(司書)研修会

- ・期 日 昭和61年11月14日
- ・会 場 郡山市図書館
- ・参加者 公共図書館・公民館・類縁機関職員 50名
- ・講 義 図書館マニュアルについて  
日本経済研究所主任研究員 国分 信

## 3 図書館業務連絡会議

全県的な図書館サービス網の充実を図ることを目的として県内公共図書館間の協力体制のあり方や今後の図書館業務の方向について協議した。

(第1回)

- ・テーマ ① 資料相互貸借について  
② 協力車の運行について

- ・期 日 昭和61年4月22日
- ・会 場 県立図書館
- ・参加者 公共図書館職員 20名

(第2回)

- ・テーマ 相互協力を活発にするための方法の検討
- ・会 場 郡山市図書館
- ・参加者 県中地区の公共図書館・公民館職員 20名

## 第5節 図書館協力

「図書館の図書館」としての機能を十分に発揮し得るようにと、新たに「福島県立図書館における相互協力のための資料貸出要綱」と「福島県立図書館協力車事業要綱」を制定し実施した。

また、県公共図書館協会でも、県内の相互協力体制を更に充実強化するために「福島県公共図書館協会における相互協力のための資料貸借規程」を制定した。

### 1 相互貸借

従来は、県内外を問わず、北日本図書館連盟の相互貸借規程に基づいて行ってきたが、公民館図書室などにはあまりなじまず、利用も消極的であった。

本年度からは、独自の要綱を制定したことにより、相互協力の必要性が再認識され、利用館数も次第に増えてきている。

なお、相互貸借の円滑な運営を図るため、「福島県立図書館相互協力関係例規集」を作成し、図書館、公民館図書室等へ配布した。

### 2 研 修 会

#### (1) 図書館長研修会

- ・期 日 昭和62年2月27日
- ・会 場 県立図書館
- ・参加者 公共図書館長 20名
- ・講 演 私と美術との出会い  
県立美術館長 原田 実